

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	高野裕治	所属	東北大学						
研究会等名称	表情の社会的機能とユニバーサリティ研究会								
成果概要	<p>2019/9/11-13 に立命館大学で開催された第 83 回日本心理学会において、「表情のはじまり」というシンポジウムを開催した。本助成金により、大阪市立大学より、魚類による社会認知実験のパイオニアである幸田正典先生をお招きすることができた。加えて、中部大学の川上文人先生に新生児微笑と社会的微笑について、大阪大学の石原尚先生に顔表情のロボットへの実装について講演いただいた。総じて、表情のはじまりについての議論する上で有意義なシンポジウムとすることができた。参加人数は 8 名+当日参加者 20 名程度であった。</p> <p>その後、2017,18 年度の成果も含めて、本研究会のメンバーを中心として、学術変革領域 B への応募に取り組んだ。1-2 月に打ち合わせを重ねて、本研究助成によるシンポジウムの登壇者を中心に申請書をまとめることができた。</p> <p>新型コロナウイルスの影響もあり、規模を縮小しての開催となったが、仙台にて十分に距離をとって、着席できる会議室を準備して下記の会合を本助成金により 3/31 に開催することができた。</p> <p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>会員</td> <td>6 名 (うち認定心理士</td> <td>0 名)</td> </tr> <tr> <td>非会員</td> <td>1 名 (うち認定心理士</td> <td>0 名)</td> </tr> </table> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>まず、本会の代表の高野より、学術変革領域 B への応募内容を発表して、さらに今後、この申請書の拡張する計画を議論した。そのために、今後の拡張対象の一つである昆虫界における表情の可能性として、遠隔参加となったが、九州大学の村上貴弘先生と議論した。昆虫界に表情の定義を拡張する際には、視覚的シグナルに縛られない議論が必要となる可能性について、議論した。続いて、東北大学の齋藤俊樹先生に、表情の表出、特に笑顔には心の知覚を促進する効果があることについて話題提供いただいた。上述した学術変革領域の拡張編に進むに当たり、「表情の障がいとその支援」といった応用分野を視野に入れている。この点において、表情が心の知覚を促進するといった機能は有効な視点となることを議論した。</p> <p>本会では表情機能のユニバーサリティについて、多角的に論じてきたが、いよいよ研究費獲得にまで、今年度は成果をまとめることができた。今後は実際に新たな学問領域として、広がるように、研究を進捗させていく。その時に、これまでは進化的心理学的な議論や、行動神経科学的な議論が先行してきたが、今年度に着眼しはじめたように、臨床心理学的視点も加えて、基礎から応用までを扱えるようになるという今後の課題も見出すことができた。</p>			会員	6 名 (うち認定心理士	0 名)	非会員	1 名 (うち認定心理士	0 名)
会員	6 名 (うち認定心理士	0 名)							
非会員	1 名 (うち認定心理士	0 名)							

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
表情の社会的機能とユニバーサリティ研究会				
研究集会開催日： 2019年 9月 13日(金)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	高野裕治	東北大学	○	
2	中嶋智史	広島修道大学	○	
3	須藤竜之介	九州大学	○	
4	請園正敏	東洋ライス	○	
5	川上文人	中部大学	○	
6	平石界	慶應大学	○	
7	幸田正典	大阪市立大学		
8	石原尚	大阪大学		
9	その他当日参加者20名程度			
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
表情の社会的機能とユニバーサリティ研究会				
研究集会開催日： 2020年 3月 31日(火)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	高野裕治	東北大学	○	
2	中嶋智史	広島修道大学	○	
3	須藤竜之介	九州大学	○	
4	請園正敏	東洋ライス	○	
5	齊藤俊樹	東北大学	○	
6	高野春香	東北大学	○	
7	村上貴弘	九州大学		
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2020年 3月 31日

日本心理学会研究会

2019年度会計報告書

研究会名称 表情の社会的機能とユニバーサリティ研究会

研究会番号 19029

助成金額 ￥30,000

年 月 日	項 目	金 額
2019年9月13日	講師謝礼 (大阪市立大学 幸田正典先生)	￥20,000
2020年3月31日	会場費	￥10,000
	支出合計	￥30,000